

## REPORT 北ブロック入会式

**北** ブロックの入会式が2024年12月に行われ、新たに15名の新会員を迎えることができました。当日は、多くの会員が参加し、温かな雰囲気の中、皆でたくさん話すことができました。経営者は孤独と言われますが、会が進むにつれ、同じ悩みを共有できる仲間になったように見えました。新たな仲間を迎え、今後さらに活気ある活動を展開していきましょう。



### 入会者

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 岡本 久美子 (北第一支部 アス株式会社)          | 阿部 亮子 (北第一支部 直本工業株式会社)      |
| 高崎 忍 (北第三支部 Olive connect株式会社) | 松下 弘 (北第一支部 和研工業株式会社)       |
| 藤原 祥孝 (北第三支部 藤原公認会計士事務所)       | 橋本 竜実 (豊能支部 株式会社あるいてく)      |
| 高桑 真也 (三島支部 株式会社みらいきって)        | 北野 正典 (北第二支部 株式会社マックリン)     |
| 石川 克司 (三島支部 弁理士法人ナビジョン国際特許事務所) | 宮田 博文 (阪神支部 株式会社宮田運輸)       |
| 山田 克樹 (新大阪支部 新居国際特許事務所)        | 瀧浪 純 (三島支部 株式会社わかば経営)       |
| 藤澤 佳津男 (豊能支部 HRプロ社会保険労務士事務所)   | 東元 美恵 (北第三支部 税理士法人KTリライアンス) |
| 田村 浩資 (北第三支部 三方よしのAIT)         |                             |

前列左から

## REPORT 北ブロック合同例会

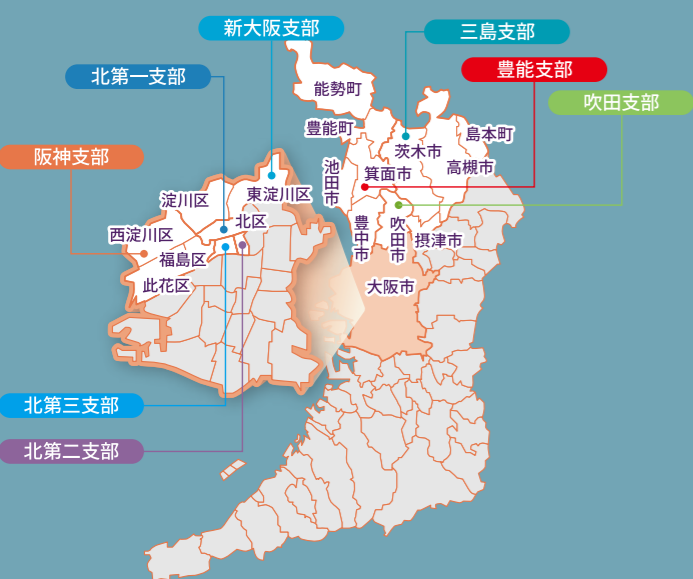


### あ

いにくの雨天にもかかわらず、267名もの方々にご参加いただき、合同例会を開催することができました。荒木 信幸様 (有限会社荒木商会)の講演では、参加者全員が熱心に耳を傾け、その後の懇親会では、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間となりました。本例会の開催にあたり、多大なご尽力をいただいた実行委員の皆様、そしてさまざまな形でご支援くださった関係者の方々に、心より感謝申し上げます。今回の成果を今後の活動に生かしてまいります。

日時	2024年11月26日(火)	参加者数	267名
場所	ANAクラウンプラザホテル大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目3-1		

まぶち しゅんすけ  
満淵 俊輔 (北ブロック 合同例会委員長)



### 北ブロック全国行事 年間スケジュール

はこちらから [同友会北ブロック公式サイト](https://www.hokkyokusei.osaka.jp/block/schedule/) が開きます  
<https://www.hokkyokusei.osaka.jp/block/schedule/>



### 同友会北ブロック公式サイト「北極星」

はこちらから [同友会北ブロック公式サイト](https://www.hokkyokusei.osaka.jp/) が開きます  
<https://www.hokkyokusei.osaka.jp/> 🔍 北極星 同友会 北ブロック

### 編集後記

「カッコいい経営者になろう!」をスローガンに掲げて今年で2年目。今回取材をさせていただいた逆境をものともせず前向きに新規事業にチャレンジする辻さんはまさに「カッコいい経営者」そのものでした。このような素敵な経営者が北ブロックには数多く在籍しています。これからも機関誌にとどまらず、Instagram等のSNSでも彼らの魅力を発信していきます。どうぞご期待ください。

やまの たかひろ  
編集人: 山野 高弘 (北ブロック 情報化・広報委員長)

良い会社を目指すための羅針盤

TAKE FREE

Vol. 36

2025年2月1日発行

# 北極星

大阪府中小企業家同友会  
大阪北ブロック広報マガジン

豊能支部/吹田支部/三島支部/新大阪支部/阪神支部/北第一支部/北第二支部/北第三支部

### INTERVIEW

## カッコいい経営者が、事業のバトンをつなぐ挑戦

建設・福祉・水、  
すべては人のために。  
次の世代へと引き継ぐ想い。

辻和建設株式会社  
代表取締役社長

つじ みちこ  
辻 美知子

We Love Osaka

# カッコいい経営者が、 事業のバトンをつなぐ挑戦

建設・福祉・水、すべては人のために。次の世代へと引き継ぐ想い。

取材：山野、香川、岡坂、小野、小山 文：伊藤 写真：大野

「女性の活躍」が叫ばれて久しい昨今、変化はありつつも本質的な課題は解消されていない会社は少なくありません。そんな中、辻和建設株式会社の代表取締役である辻美知子さんは、かつて男性社会のイメージが強かった建設業界において経営者として活躍するだけでなく、自社ひいては社会の未来を見据えて事業拡大や事業承継のために日々奮闘しています。



辻和建設株式会社 代表取締役社長 辻 美知子

## 建設業界に新たな風を吹き込む女性経営者

建設業界は、長らく男性中心の業界とされてきました。その中で辻さんは、リーマンショックという激動の時代に社長へと就任。業界では珍しい女性経営者ということもあり、社内外から「女に型枠工事の事業が務まるはずがない」という声が上がったことも。

ある元請会社からは「今すぐ、あなたが社長を辞任すれば今後も辻和との取引を続ける」と、言われたこともありました。しかし、辻さんは笑顔でその場を切り抜け、強い意志と行動力で社内外の信頼を築いてきました。「男性社会の中で舐められたくない」という信念を持ちながらも、相手に寄り添い、丁寧に接することを大切にしています。

## 型枠も福祉も水も、すべては人のために

従来の辻和建設の事業は型枠工事が中心でしたが、現在は福祉事業や浄水器事業も手掛けています。一見異なる分野ですが、いずれの事業にも辻和建設の共通の想いが込められています。それは「人々の生活をより良くすること」と、辻さんは話します。

2024年にスタートした浄水器事業では、BtoBを中心に新築マンション一棟全室への一括導入なども進めてきました。「安全でおいしい水」を届けるためにハウスメーカーやデベロッパーと提携し、住環境の向上を図っています。また、福祉事業では訪問看護やデイサービスを通じて、高齢者やその家族の生活を支援しています。辻さんは「型枠工事も水も福祉も、すべては人のためにある」という想いを実現するため、幅広い分野で挑戦を続けています。

## 展示会ブースで自ら商品の魅力をアピールする辻さん ▶

浄水器事業の展示会で社員とともに自らブースに立ち、来場者に商品の魅力を熱心に説明する辻さん。

建築事業、型枠工事、福祉、浄水器販売事業、どの分野でも大切にすべき考えは同じという信念のもと、辻さんは社員を信頼し「人の役に立ちたい」という思いを貫いてきました。柔軟な対応力と揺るぎない理念が共感を呼び、この会社で働きたいという多くの社員が集まることで辻和建設株式会社は着実に成長を遂げています。



## 次の世代へつなぐ新たな挑戦

2024年、辻さんは44年間使っていた自社ビルからコンパクトな事務所へオフィスを移転。この大きな決断の背景には、社員に事業を承継しやすくする仕組みづくりという意図がありました。「私が突然倒れたら、この会社はどうなるのか?」という問いに真剣に向き合い、負担の少ない経営基盤を整えることで次の50年を見据えた体制を築いています。

「未来を創る、安心を創る」という会社の想いは、まさにこの移転という決断にも表れています。会社を受け継ぐ人々が安心して経営を続けられる環境を整えることで、地域や社員の未来の生活を支えていく。その姿勢が辻さんの経営哲学を物語っています。

## 社員とともに歩む会社づくり

辻さんが目指すのは「社員が誇りを持てる会社」です。「社員の年収を業界トップクラスにする」という目標を掲げ、利益を社員に還元する仕組みを構築しています。

「理念の実現だけでなく、利益をしっかりと出して社員に還元する。それが、社員の生活を守り、未来を創ることにつながる」と辻さんは語ります。社員とともに考え、行動し、未来を作る取り組みは、経営者としての理想的な姿といえるでしょう。

## 社員とともに歩む会社づくり

「次の50年を見据えて、福祉事業、浄水器事業を拡大させながら、『型枠工事』からゼネコンを目指し、ワンストップでサービスを提供する会社にしていきたい」と辻さんは語ります。それは単に利益を追求するためではなく「社員や地域の人々をより幸せにするため」です。

日本一の年収を目指して社員を育て、型枠工事から福祉、浄水器に至るまで、多様な事業で人々の生活を支える、辻和建設の挑戦はこれからも続いていきます。

## company information 会社概要

- ・社名 辻和建設株式会社
- ・所在地 吹田市豊津町40-4
- ・URL <https://www.tujiwa.co.jp>
- ・創業・設立 1971年
- ・資本金 4950万円
- ・社員数 20名、パート2名
- ・同友会入会 2009年5月(2009年度)

## Column 同友会とのかかわり

辻さんが同友会と出会ったのは、社長に就任して1年後のことでした。当時、経営者としてどうしてよいかわからなかった辻さんにとって、同友会での活動は大きな支えとなりました。特に、同友会の「労使見解」に触れたことが、社員との関係や会社の未来を考えるきっかけになりました。

同友会での議論や学びを通じて「経営者としての視野が広がった」と語る辻さん。辻さんにとって同友会は「経営者として成長するための大切な場」であり、同じ志を持つ仲間たちとの出会いが、大きな財産となっています。

